

〈目次〉

広場の造形  
——付記 山田幸平「岩宮武二教授の姿勢」——  
…………… 4

満州の都市計画と公園緑地 ……………清  
水 正之・福原 成雄…… 23

天王寺動物園サバンナゾーンとランドスケープ・イマ  
ージョン〈誌上作品発表〉  
……………若生 謙二…… 38

人々の集まる住まい・格天井〈誌上作品発表〉 ……  
……………荒木 正典…… 47

マイヤール考 ……………中東 達男…… 54

90年代の図書館建築 ……………中村 恭三…… 62

都市祭礼における風流の一側面——“つくりもの”の場  
合—— …… 西岡 陽子…… 70

プレシャ市立サンタ・ジュリア美術館について——  
市立美術館の一つのあり方——  
……………石井 元章…… 78

デザイナー社会成熟への遙かな道——大阪デザイン団体  
連合の20年——  
——デザイン社会学・デザイン環境論ケーススタ  
ディ9——…西尾 直…… 87

サダキチ・ハルトマンとアルフレッド・ステイーグリ  
ッツの出会いの意味  
……………犬伏 雅一…… 97

映画の復元——『何が彼女をそうさせたか』(1929)に関して(II)  
——…太田 米男…… 108

野田秀樹『TABOO』論 ……………出口 逸平……122

『物語の鉄則』による作品分析……………高木真理子…… 132

プラハ・カドリエンナーレのバックドロップ——<PQ  
の背景画>——  
……………堀田 充規……146

日本人景——無名のアースワーク(II)——〈誌上作品発表〉  
……………有野 永霧……157

J.ハイドンのクラヴィーア音楽——フォルテピアノとの関  
わりを中心に——  
……………芹澤 尚子……165

自動演奏ピアノについて——その文化史的背景の考察——  
……………松田 明…… 173

メディア・アート、テクノロジー音楽の活動拠点  
——ドイツZKM及びフランスのINA-GRMを中心  
に—— ……上原 和夫…… 185

DIGITAL WORKS プロジェクト2  
——人権啓発のためのインタラクティブメディア・  
コンテンツ制作——  
……………太田 明仁…… 191

大阪芸術大学と「日本におけるイタリア年」 ……  
……………石井 元章……194

ブルーマート作『モーゼの石打ち』——教訓的解釈の試  
み—— ……小谷 訓子…… 202

音楽運動療法とサクソフォーン ……………野田 燎…… 209  
音楽運動療法による神経系賦活——パーキンソン病患者  
の例から—— …………… 216

表紙「仏立像」5世紀中期 マトゥラー出土  
砂岩 高さ111cm マトゥラー博物館  
裏表紙「仏頭」5~6世紀 ハッダ出土(アフ  
ガニスタン) カブール博物館

撮影：岩宮武二 デザイン：北端信彦

## CONTENTS

---

Arts in Public Spaces —with an Essay by Kohei Yamada—	4
City Planning and Parks of Manchuria Masayuki Shimizu, Masao Fukuhara	23
Tennoji Zoo Savanna Zone and Landscape Immersion Kenji Wako	38
A Residence where People Gather • the Coffered Ceiling Masanori Araki	47
A Study of Robert Maillart Tatsuo Nakahigashi	54
New Library Buildings of the 1990's in Japan Kyozo Nakamura	62
One Aspect of Furu in Urban Festivals —A Study of “Tsukurimono”— Yoko Nishioka	70
Santa Giulia Museum in Brescia —An Example of a Civic Museum— Motoaki Ishii	78
The Transition of USD-O, 1981 to 2001 —United Societies of Design, Osaka— Tyoc Nishio	87
The Fortunate Encounter between Sadakichi Hartmann and Alfred Stieglitz Masakazu Inubuse	97
The Restoration of “Naniga-kanojo-o-so-sasetaka (What made her do it ?)” 1929 (II) Yoneo Ota	108
Hideki Noda’s “TABOO” Itsuhei Deguchi	122
An Analysis of Works based on Principles of Stories Mariko Takagi	132
The Backdrop of The Prague Quadrennial Atsumi Horita	146
Landscape by Japanese —Untitled Earthwork (II) — Eimu Arino	157
J. Haydn’s Keyboard Music —Focusing on its Relation to the Fortepiano of the 18th century— Hisako Serizawa	165
The Automatic Piano —A Study of its Cultural Historical Background—	

.....Akira Matsuda	173
A Report on the Activites on Media Art of the ZKM and the INA-GRM .....Kazuo Uehara	185
Digital Works Project 2 —Making Interactive Media Contents for Human Rights Enlightenment— .....Akihito Ota	191
Osaka University of Arts and “Italia in Giappone 2001” .....Motoaki Ishii	194
The Moralizing Mode in Late Sixteenth Century Dutch Mannerism —A Study of Bloemaert’s Moses Striking the Rock— .....Noriko Kotani	202
Musical Exercise Therapy and the Saxophone .....Ryo Noda	209
Nervous System Actiration by Musical Exercise Therapy —in the Case of Patients with Parkinson’s Disease— .....	216

Cover: “Standing Budha”, middle 5th century A.D., Mathura, India,  
sandstone, H.111cm, Mathura Museum

“Head of Budha”, 5-6 century A.D., Hadda (Afghanistan),  
Kabul Museum

Photo:

Takeji Iwamiya, Designe: Nobuhiko Kitabata

《筆者及表紙作成者紹介》

荒木 正典	大阪芸術大学教授 (環境デザイン)
有野 永霧	大阪芸術大学教授 (シリアス・フォト)
石井 元章	大阪芸術大学教授 (イタリア美術史・日伊文化交流)
犬伏 雅一	大阪芸術大学助教授 (映像理論)
上原 和夫	大阪芸術大学教授 (音楽工学)
太田 明仁	大阪芸術大学助教授 (デザイン)
太田 米男	大阪芸術大学助教授 (映画)
北端 信彦	大阪芸術大学教授 (ヴィジュアル・デザイン)
小谷 訓子	大阪芸術大学講師 (ルネサンス美術)
清水 正之	大阪芸術大学教授 (造園学)
芹澤 尚子	大阪芸術大学教授 (音楽学)
高木 真理子	大阪芸術大学助教授 (ドラマ分析)
出口 逸平	大阪芸術大学助教授 (日本文学)
中東 達男	大阪芸術大学教授 (建築構造設計)
中村 恭三	大阪芸術大学教授 (建築計画)
西尾 直	大阪芸術大学教授 (デザイン社会学)
西岡 陽子	大阪芸術大学助教授 (民俗学・国文学)
野田 燎	大阪芸術大学教授 (音楽療法)
福原 成雄	大阪芸術大学助教授 (造園・環境デザイン)
堀田 充規	大阪芸術大学講師 (舞台美術)
松田 明	大阪芸術大学教授 (音楽学)
山田 幸平	大阪芸術大学名誉教授 (ロシア文学・映像学・芸術学)
若生 謙二	大阪芸術大学助教授 (造園学)

《編集後記》

山崎 葵子

「藝術」24号をお届けする季節になりました。

21世紀の第1年、大阪芸術大学はこの10月15日の塚本学院創立記念日、秋の抜けるような青空のもとに、短期大学部創立50周年、通信教育部開設、10号館、撮影所、新文化クラブハウス竣工という数々の記念の式典が晴やかに行われました。新しい時代の大学に向かって態勢が着々と整えられております。

世界規模の経済危機への憂慮が深まり、一方に少子化による受験人口の激減など、全国の大学がかかえる厳しい状況を本学もまた受け止めてゆかねばならない道程にたち至っていますが、本学のスタッフが日々研鑽を積まれた研究や制作、その意味を学内外において問う実践的活動の報告などが今回も集まりました。ここにも本学の内容的健在が実証されているといえましょう。

表紙は故岩宮武二教授の写真作品「仏像」です（提案・写真学科、構成・デザイン学科）。岩宮武二教授（1920～1989）は写真学科設置（1965）以来学科長を永年務められました。今年は13回忌にあたります。ご遺族と関係者のご好意によって一連の作品を「広場の造形」にも展示しました（構成・美術学科）。その中には目下の成りゆきを見まもる世界の眼を釘づけにしているパキスタンやアフガニスタンの仏像写真が多数含まれています。なお岩宮教授の敦煌旅行（1980）に同行されました山田幸平名誉教授にエッセイをいただきました。その中にお名前が挙げられている故松井正教授の絵画（油絵）作品「敦煌の空」（撮影・岩宮武二）を併せて紹介します。これもご遺族のご好意の貴重なフィルムを拝借しました。松井正教授（1906～1993）は本学創立の翌年（1964）以来美術学科の教授に就任、美術学科長（1968より）を務められ、1988にご停年。また二科会の重鎮として活躍されました。岩宮教授との中国旅行は実に74才でのご参加でした。この旅行の収穫が数々の作品になり、「敦煌の空」はそのひとつです。これらお三方は情熱を注いで本学の歴史の内実を作ってこられた、文字通り「先生」方ですが、余りご存知ない方々も多くなってきました。こうした先生方の業績の一端を、機会を捉えて紹介し語りついでゆく必要があるという編集委員会の一致した気持ちでした。

世界の情勢も不穏のうちに今年は慌しく過ぎてゆこうとしております。

ご高覧、ご高評、ご忠言下さいますようお願いいたします。

編集・刊行にあたって今回も惜しみないご協力とご尽力をいただきました各方面の諸氏に心から深謝いたします。

大阪芸術大学 紀要《藝術》24

平成13年11月28日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町 TEL0721-93-3781

編集／大阪芸術大学紀要編集委員会

委員長	文芸学科・教授	山崎 葵子	環境計画学科・助教授	下休場千秋
委員	美術学科・教授	前中 妙	音楽教育学科・助教授	樋口 光治
	デザイン学科・教授	北端 信彦	演奏学科・助教授	和布浦眞理子
	建築学科・教授	田端 修	舞台芸術学科・教授	宮村 一幸
	文芸学科・助教授	笹谷 純雄	芸術計画学科・教授	豊原 正智
	音楽学科・教授	中山 一郎	教養課程・講師	松井 純子
	放送学科・助教授	高木眞理子	芸術文化研究科・教授	新井 基祐
	写真学科・教授	原見 政男	芸術制作研究科・教授	田島 信
	工芸学科・教授	井関 和代		
	映像学科・助教授	吉川 幸夫		

印刷／日本写真印刷株式会社